

平成26年度 春日井市地域自立支援協議会部会等の取組みについて

	目的・課題	平成26年度の具体的取組み
日中活動部会	<p>①希望通りの日中活動系事業所へ通えていない障がい者があり、さらに、事業所の定員の空きにも偏りがある。</p> <p>②体力面、精神面で離職した障がい者を受け入れる体制、事業所がない。福祉施設から一般企業への就職率が低い現状がある。</p> <p>③医療的ケアを要する人の日中活動先が不足している。</p>	<p>①事業所の質を春日井市全体で向上させていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日中活動資源調査アンケートを実施。 （③医療的ケアの実施の有無を項目に盛り込む） ・日中活動系事業所施設長会議、研修会を開催。 ・日中活動系事業所現場職員研修を実施。 <p>②就労支援、就労定着支援について検討する。</p> <p>③医療的ケアを要する人の日中活動先について課題整理、検討を行う。</p>
相談支援部会	<p>①平成27年度から支給決定を受ける際にサービス等利用計画が必須となることに合わせ、計画相談の質の向上を図る必要がある。</p> <p>②現状の特定相談支援事業者数及び相談員数では、全ての対象者（約2千人）の計画を立てることが困難なため、セルフプランの進め方を検討する。</p> <p>③計画相談についてサービス事業所が知らないために協力を得られない事例が発生している。</p>	<p>①計画作成の上で困ったこと等を共有する場とする。</p> <p>①事例の検討を行う。</p> <p>②セルフプランを含めた相談支援体制のあり方、進め方について検討する。</p> <p>③定期的に部会だよりを発行し、事業所に計画相談の必要性等について周知していく。</p>
すまいの部会	<p>①障がい者の地域での暮らしを制度の枠だけにとらわれず、地域社会全体で協力して支援できる体制づくりを目指す</p> <p>②①に向けて支援者の確保が課題となっている。</p>	<p>①当事者、家族、地域住民に障がい者の地域での暮らしをイメージしてもらえよう、啓発DVDを制作し、活用していく。</p> <p>①当事者の暮らし方を考える機会、自立に向けたきっかけを提供する機会として日中活動（レク）や宿泊体験を実施する。</p> <p>②相談支援事業所連絡会のメッセージ企画として障がいの理解を深めてもらうことを目的に講座の開催を依頼する。（ハートフル講座）</p>
相談支援事業所連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者生活支援センター相互の連携及び情報の共有を図る。 ・個別の相談ケースから地域の課題を抽出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム・メッセージの活動を行う。 ・障がい理解啓発講演会を開催する。 ・メッセージ企画として、元気がでる研修会及びハートフル講座を開催する。 ・事業所間研修を行う。
当事者団体連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者関係団体相互の連携及び情報の共有を図る。 ・当事者目線から、課題を抽出し、当事者、家族の立場からできることに取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者、家族向けに障がい者の自立した暮らしを考える“つどい”を実施する。 ・一般市民向けの啓発として、福祉のつどいで啓発活動を行う。
運営会議	<p>部会及び連絡会の調整、進捗管理並びに協議会の運営を協議する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・部会や連絡会からの報告を基に運営会議として課題を集約し、整理、分析する。 ・障がい者総合福祉計画策定に合わせ施策推進協議会と連携し、自立支援協議会の円滑な運営を図る。